阿Q小組公認機関報
発行：阿Q通信公司
東京都渋谷区広尾5-21-2
長谷部第2ビル　プラッツ内
☎03(449)9711　〒150
郵便振替東京8-357538
編集人　樫村富士夫
壱玖八八年六月　五日発行
第3巻　第1号　通巻23号
毎月1回1日発行予定
第3種郵便物未認可

大公報

阿Q東京に馴れる！

梅雨なんてへっちゃらだいオイラ

カルトバンドと勘違いされつつも首都東京で早二ヶ月アヴァギャルドに活動続行――第二のダイアナ鈴木さん目指し目下突進中だ！

「いいわよ、いいわよ、そのリズム、キープオンして！」とダイアナ鈴木さんの、六十路を感じさせないハリのある声が東京は国分寺にある「ダイアナ鈴木ダンシングステューディオ」に響く。ここは阿Qの秘密稽古場だ。阿Qは、ピンクレディーが土居甫先生の振り付けあってスターになったように世界中から超一流の演出家を招聘して日夜ステージンクに精進しているが、特にダイアナさんは三鷹以西にあって「戦後四十年、街角にこの女（ひと）立たぬ日なし」と恐れらるるほどの実力をもったストリーターで、六八歳になった今でも「カムカム、エブリボディー」と元気一杯、現役だ。

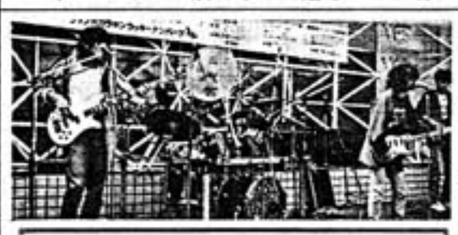
「いいかい、タラコちゃん、あんたラブって歌うけど、まだ日本人の『好きよ』くらいのモンでしかないね、マインドが。いい、このリズム、『精霊流し』って曲はね、ヴァイオリンの旋律を聴いてごらん、黒人霊歌だよ、奴隷みたいに綿花摘みさせられて苦労して、身も心もズタズタに疲れ果てた黒人が、心底から、誰も頼れなくて、唯一アタイを救ってくれる存在、誰だかわかるかい、オーッ、GOD、イエスよ、神様に救いを求めているわけ、ユー、アンダースタン？その、神様とザ・チルドレンを結ぶマインドのリレーションが、愛なのよ、ラヴ、なの。わかった？もう一度歌ってごらんよ」

ダイアナさんの稽古は厳しい。タラコたちが『唄のこころ』を理解するまで、血ヘドを吐かんばかりのソルフェージュが続く。

「違うのよ、もう一回、そこ、♪やーくそくどぉおりにあなたが愛したぁレ～コオドも一緒に流しましょう、から、♪せーんこ～花火が見えますかぁ空の上から～、まで、もう一度歌ってごらん。なんでわからないんだろう、このフレーズといい、歌詞といい、誰が聴いたって『精霊流し』がソウルフルなゴスペル・ブルースだってことくらいは理解してよ」

ダイアナさんは明後日のほうを向いてしまった。こんなことが週に一回はある。そんな時は謝った方が、何度も何度もしてはいけない。御機嫌をとりつくろうのだ。ダイアナさんはまるで他人事のような表情でビールを飲み干しながらタラコの声は枯れ、ギターの弦は汗で錆びつく。そんなんだりしゃぶしゃぶをしている。そのうちタラコの声は枯れ、ギターの弦は汗で錆びつく。そんな頃、ダイアナさんに笑顔。「♪ボローは着てても心はにしき～」と歌い始める。このフレーズがダイアナさんの口唇からもれる時、タラコの唄は最高なのだった。

「さ、今日は終わりにしようかい」とダイアナさんは国分寺駅前のスナック「青い目をしたお人形」に阿Qの面々を誘う。酒に酔ったダイアナさんは「三鷹の水前寺清子」と呼ばれていた若い頃の思い出話だ。阿Qはそんなダイアナさんの、ちょっともの悲しい話を聞きながら、人生の辛さを感じる。「辛抱だよ」とダイアナさんは一言、カウンターでウトウト。毎日、こんな調子だが、ダイアナさんはまだバリバリの現役だ。



折折のうた

ダンス！ダンス！　きみはサイレンのかなた～　大坂鉄雄（昭和62）

阿Qのポップソング「ダンスはサイレンの彼方に」の一節。危機的な現代と希望のない未来にはさまれた若者のやるせない心をサイレンが象徴している。そのサイレンの彼方にあの世がいる。愛するきみは、その極楽にいる。その世界は現世から見て遠方のため、じっとしていらずっと遠方のため、じっとしていられては現世から見えないので、派手に手を振り足を挙げ踊って、苦悩している自分からも見えるようにしてくれ、という切ない想ひの歌。彼方（かなた）という仏教語を使用しているあたりに作者の佛に対する造詣と信仰の深さが察せらるる。

記事

新・88太平天国全貌……（二）
好評阿Q物語香港編……（三）
阿Q初夏の演奏日程……（四）
一〇月二一日と決定……（四）

天声人語

阿Q号購入！

この度トヨペット馬込営業所の村木さんと阿Q通信公司、PLATZが共謀の結果、ついに阿Qは豪華自動車を所有することとなった。この自動車はいま流行の水平6気筒空冷式パワフルターボ型ダブルエンジンを装備しマッハ一・二で安定走行。デザインも側面のガラスは椰子の木の浜辺に夕陽が映える南国の風景がバツグンだ。一部からは「せっかくの新車なので土禁にしよう」とか「せっかくのハイルーフなので家にある小判の額縁をつけよう」などと貴重な意見もあったが、「湘南のセンスを大切にしたい」という及川プロデューサーの意見に阿Qのメンバーも賛同だ。この自動車に乗って、阿Qはこれから全国津々浦々、演奏をしてまわるわけだが、それだけではなく、やはりピンキー&キラーズみたいに、各地の子供たちの悩みを解決してあげたり夢を与えたりと「出会い」を大切にしてゆきたいと思うのだ。

太平天国第二期国民募集

新阿Qグッズ完成

永く待った甲斐がありましたと泣き崩れる国民の感激

太平天国建国から一年半あまり。国民数は着実に増加し既に三百名を越えるものの、阿Qメンバーの手作りで好評だった阿Q手帳、阿Qカルタ、阿Qカレンダーや阿Q双六、そして三枚組ソノシートは在庫がなくなり、入国申請したものの半年にわたり「阿Qグッズ」を手にすることなく寂しい思いをした国民も多かった。また、衝動的な錯覚、誤解で国民になってしまったものの「阿Qなんか大嫌い」とか「阿Qなんてもう卒業したわ」なんてギャルも少なくなく、このたび、新阿Qグッズの完成を期に、ペレストロイカに着手することとした。

話題騒然の阿Qグッズ　太平天国セット紹介

まず「阿Q手帳」だ。前作に比べ内容は充実したものの、相変わらずの手作りに「本当にメジャーデビューするのか」と疑問視されている作品。そして「阿Qバッチ」は人気者タイヘイオジサンがオシャレだ。そして遂に構想発表から一年あまりで「阿Qシール」も製作された。見る角度によってタイヘイオジサンが笑ったり泣いたりするという高度な印刷技術を駆使している。さらに特製ソノシートには阿Q上京後の処女作「サマーハンマーズ」を録音。更に「大公報」が郵送され続けることはかわりない。

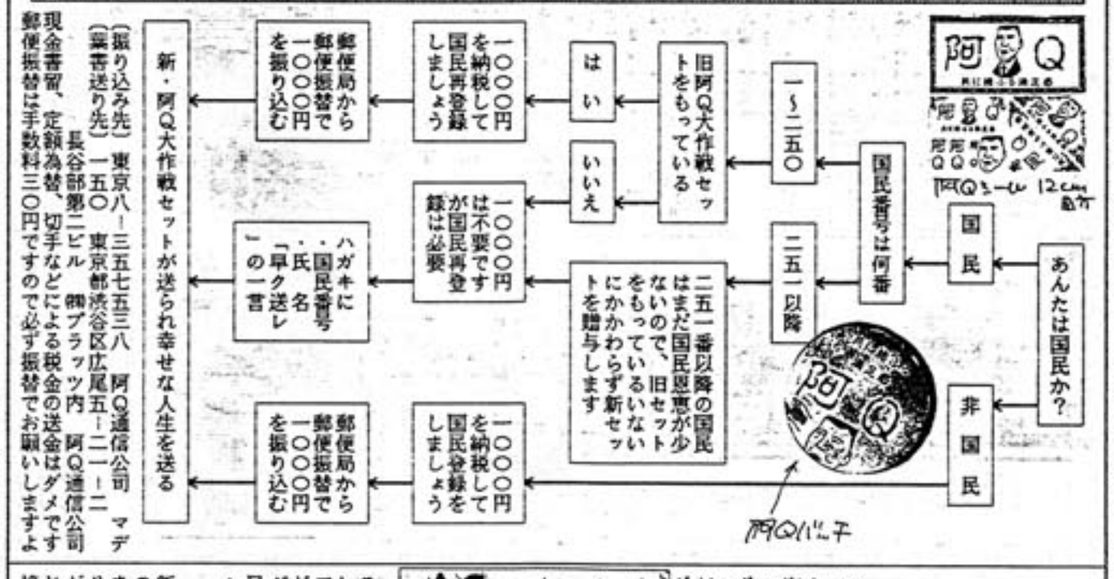
もちろん全て阿Qによるハンドメイドだ。手帳を見、バッチを胸につけるたびに阿Qの苦労を忍んでほしい。

太平天国政府公報

そろそろソノシート第一弾『おしゃれFREAK』は感り減ってレコード針も清ってしまうことだろう。第三弾『SOXXX陣二SH』から一年が過ぎ、そろそろ新作が期待されていた。そこで発表されたのが新曲「サマーハンマーズ」だ。

これまでの阿Qサウンドに比べてサンバウロの風情がよくでており、マラカス、カスタネット、タンバリンといった中近東の楽器を巧みに使用することのランバザールな夏の旬、日本脳炎気分が味わえる。インストロでダイテッツが咬をしているという噂もあるが、あれは今はやりのサンプリングなので誤解しないでほしい。

ソ聯も驚きこれが太平天国ペレストロイカの全貌だ



現金書留、定額為替、切手などによる税金の送金はダメです郵便振替は手数料三〇円ですので必ず振替でお願いしますよ（振り込み先）東京八―三五七五三八　阿Q通信公司　マデ（葉書送り先）一五〇　東京都渋谷区広尾五―二一―二　長谷部第二ビル　㈱プラッツ内　阿Q通信公司

ちなみに「キーン」と唸っているギターは以前、三味線屋で修行していたことが最近発覚した及川ディレクターのテクニカルプレだ。及川氏は、仕事柄、阿Qライヴ参観の回数が多く、太平天国国民勧誘数も多かったため、今回のレコーディング参加となった。

――◇――

タイヘイレコオドは新独活美な新人アーティストを募集しているので、自分の音にニューウェイブを感じてしまった若者は阿Q通信公司までデモテープを送ってのいただきたい。楽曲に微かでも光が感じられた場合は、発表していく寝境を開拓する。

十月廿一日

報　報　報　報

めでたいお知らせだ。阿Qの日が一〇月二一日と決定した。この日にCDをはじめLP、シングルやテープ、シングルCDまで発売されるという噂がある。今回は、もう延期のない公式日程である。その証拠に、タラコはプラッツの白柳制作部長の手帳の一〇月二一日の欄に♡マークがあったのを見たと主張している。

しかし阿Qレコードの発売を去年からずっと待っている国民にとっては、夏をレコードなしで乗りきるのは辛いだろう。それでも夏は暑さでレコードも歪むんだり溶けたりするから、秋は旬でいいと私は思う。

もしCDからテープまで全阿Q作品を揃えるとなると、一万円近いので計算したら、一今から財形貯蓄しないと大変だ。阿Qも自分たちのレコードを今までとうとう一枚もいないので、今度は揃えるぞ、と懸命なのだが、自主盤に慣れてしまっていて「一〇〇〇枚売り切れる前にレコード屋に予約したほうがいい」などと心配したりして、スタッフのやるぐと好評だ。

七月に入ると徐々に阿Q公開が始まるので、テレビに阿Qが出たりしても雑誌に記事があってもけして驚かないよう、派手なことにまだ阿Qフリークは阿Q同様慣れていないんだから、心の準備はしておいたほうがいい。

阿Q「激情の日々」ツアー　初夏の日程一挙御紹介

6月	5日（日）	新宿	ロフト
	18日（土）	福生	チキンシャック2
	23日（木）	新宿	サウンドハウス
7月	8日（金）	国立	リバプール
	10日（日）	名古屋	ELL
	15日（金）	前橋	RATTAN
7月	16日（土）	宇都宮	
	17日（日）	水戸	サントピアCORE
	19日（火）	渋谷	ラ・ママ
	21日（木）		
	25日（月）	渋谷	クロコダイル
8月	3日（水）	豊橋	かごやホール

阿Qライヴに関する問合せは　―☎03（449）9711―PLATZ（プラッツ）阿Qのスケジュール係まで

東京および東京近郊でのライヴ・スケジュールは「ぴあ」など情報誌で確認しましょう。とくに細かい時間などはプラッツに電話で問合せてもらうのがいちばん正確です。日曜日は夕方からのライヴが少なくないので注意のほど

阿Qライヴのチケットの前売りシステム――当日券は100円から500円ほど高いので前売りで家計を楽に！
前売り券購入希望の阿Qフリークは　☎03（449）9713　プラッツ　チケットレディ　木村マデ
ライヴ3日前まで電話受付⇒郵送料はこちら負担⇒ライヴ当日、会場でチケットを渡して精算⇒楽しいライヴ

8月以降の阿Qスケジュール（東京・関東周辺をのぞく）　東北6県……8月上旬に一巡　仙台……8月上旬、10月　札幌・名古屋・京都・大阪・広島・福岡　9月下旬～11月上旬に各1度

阿Qの先生へのお手紙は……150東京都渋谷区広尾5－21－2長谷部第2ビル　プラッツ内　阿Q通信公司へ

編集後記

というわけで、阿Q上京後ようやく二号目の四頁だて『大公報』だ。当然のことながらお気づきのように、それでもなくとも字ばかりでしかも字が小さくて読む気もしないと不評だった『大公報』の活字がまた小さくなって、もう電車の中では読めません、の世界だ。許していただきたい。

そこで阿Qの近況だが、秋のCD他リリースに向けて、今月は下旬に最後のレコーディング。ひさびさのレコーディングなので、阿Qの青年たちは、釣り竿の手入れやサイクリング車の整備、テントの補修、バーベキューの肉の買出しからビール調達と、準備に忙しい日々を送っている。「誰が一番」、黒くて焼けるか競争だ。」と元気もよく、及川氏はじめスタッフも、呆れかえるどころか「負けないぞ！」と気勢をあげ、特に土曜日曜はスタジオの宿舎が泊まりきれないんじゃないか、というほどのスタッフ一同、今度のレコーディングは真剣だ。遊びで阿Qやってるわけじゃない。

よく、阿Qはディスコ行くわけでもないし、飲みに行くわけでもないし、ドライブも競馬も、もちろんチンチロリンもやらないで、何をしているんですか――と尋ねられる。東京に慣れるまでならまだしも、慣れても遊ばないので心配になるそうだ。だけど、あの仙台時代も、一度だけプールバーなるものに行ってみようかと話にでたまでで挫折した。仕方ない。

なによりも阿Qフリークからの電話で「ピースケさんが目黒の駅前の八百屋でウォークマンしてステップ踏みながら玉ネギ選んでました」と報告されると、つくづく「へんなバンド」だと感じてしまう。しかし、ピースケ君にはこれからも、その気持ちを大切にして立派な大人になってもらいたい。

阿Qのソノシート第4弾――1年の沈黙を破りリリースだ。
サマーハンマーズ
この夏のみの1000枚限定発売
阿Q生演奏シリーズ"激情の日々"ツアー　7月よりの予定
●7月8日(金) 国立リバプール
10日(日) 名古屋ELL
15日(金) 前橋RATTAN
17日(水) 水戸サントピア
19日(火) 渋谷ラ・ママ
25日(月) 渋谷クロコダイル
―阿Qの秘密結社"太平天国"御紹介―
1000円の入会費を阿Q通信公司に振込むと、・阿Q手帳・阿Qシール・阿Qバッチ・ソノシート"サマーハンマーズ"録音盤5点セットがいただけて、阿Qの新聞「大公報」が毎月郵送される。
■パラダイスレコードはじめ、自主盤取扱有りレコード店で絶賛販売中／通信販売はEP両枚でも送料240円（為替 or 現金）。
タイヘイレコオド
☎03(449)9713　東京都渋谷区広尾5-21-2 PLATZ内　振込先（郵便局より¥30で）東京8-357538　阿Q通信公司　マデ

今にも崩れそうなビルばかり。どのビルも同じくらい古くて、全部が寄りかかって、どうにか体裁を整えてるかんじ。周囲より小高い岡の上に、この古めいたビルの群れはそびえたっているように、みえる。昔はこの巨大なビルの群れのまわりにはゴチャゴチャとスラムがあったから、そんなにビルの群れは目立たなかったらしい。それが総督府政府の政策で、スラムがどんどん解体されたら――新興中産階級向けのマンションが建設されるらしいよ――このビルの群れだけが残ってしまった。

まわりのスラムに比べたら、この住人は確かに一筋縄では括れないから、総督府もなかなか強制執行できない。確かに、麻薬の売人もいるし、娼婦も売春も、国民党の特務も、大陸からの不法流入者も、いる。ヒッピーも漂流してきたし、インド人の乞食もベトナム難民も、いる。だけど、一応みんな、混乱はしていないし、そんなことよりも、クーラーを購入する余裕のある全所帯が気ままに付けたクーラーの水が、一階の床を洪水にしているのと、ガス管がそろそろ耐久年数をすぎて、たまに錆び腐ってガス漏れしていることのほうが、ティェションたち住人にとって大きな問題だった。

ヘんに「牙科」つまり歯医者の看板が多い古いビル群「九龍城」で、ティェションは生まれ、そして育っている。

「ティェション、ティェション」と姉貴の声がした。ミッション系の英語で授業をする学校に入学した。グレートフルデッドが好きで髪を背中までのばしてヒッピーきどり。夕べは遅くまでデニム地のバックに自分でサイケデリックな刺繍をしてて、今朝、寝坊した。

「なんだ、ティェション、いるんなら返事くらいしなさいよ」と姉貴はポンと布でまいたブツをティェションに放りなげた。「お願いね、届けて」というと姉貴は、夜更しの甲斐あった、デニムのショルダーバックをさげて、クーラーの排水がビジョビジョする中を駆けだしていった。

きっとデートだ。ティェションは姉貴に渡された荷を開けた。大きなアルミの弁当箱、その上に総督府の建物が描かれた一HK$札が二枚のって、ティェションはその札を半ズボンのポケットにしまうと、弁当箱を布で腰に巻きつけて、ビル群を出て砂ぼこりのまう坂を市街に駆けおりた。

五分も歩くと、啓徳国際機場のエリアだ。狭い平地の狭い市街地の中にあるこの植民地の狭い海峡に面した狭い平地の狭い市街地の中にあるこの飛行場のたった一本の滑走路目指して世界中から飛行機がやってきた。そして、その着陸の合間を縫うように飛行機が忙し気に離陸していく。

4月24日　第一回ロンドン大阪全国大会

「あ、ジャンボだ」とティェションは空を見上げた。こないだ、テレビで紹介されていた、世界一大きな飛行機だ。まだ香港に飛来するようになって二、三日。ティェションは始めて、この大きな大きな飛行機の真下になった。グオーッという地面に響きそうな音を残して、ジャンボは海上の遙か遠くに飛んでいった。

ビビビビビッ、警官の笛。ジャンボを追って、ティェションは飛行場の駐車場エリアに入っていった。

「ポーッ」と汽笛が鳴った。九龍駅から午後五時定刻で深　行きの急行が発車した。「昔はあの列車がイギリスのロンドンまで行っていたんだよ」と父親が教えてくれた。地球を半周する列車、ティェションは興奮してばかりいる。

やっと小星輪就（スターフェリー）の桟橋についた。乗船用のタラップが上がる寸前にフェリーに跳び乗った。もう、狭い海峡をはさんだ香港島は夕陽でだいだい色に焼けてみえた。海峡縁の高層ビル街ではネオサインが灯り始めた。

「日本の会社が増えた」と子供ながらにティェションは思った。ソニー、トヨタ、東芝、ニコン、みんな日本の会社だった。

五分も揺られれば香港島の桟橋だ。ティェションは今度は一番最初にフェリーに乗り込んだ。

父親は中国、福健省の生まれだった。華僑の故郷らしく、父親は日本の横浜に住む叔父の援助で日本に留学した。父親は大学で薬学を勉強して日本人の女性と結婚した。そして新婚と中国へ帰った。上海の医科大学の講師になった、夫婦で。そこへプロレタリアート文化大革命だ。福健省の多少裕福な農業家の出身であり大学で医学を教える「ブルジョワ知識人階級」でしかも日本留学の経験があるどころか日本人女性を妻にしている……。紅衛兵たちの恰好の餌食だった。自己批判させられ追われるように大学を出、内蒙古自治区の農村で労働学習させられた。生まれたばかりのティェションと姉がいるのに母親は日本人ということで、父親と別な学習を目的に離れさせられた。この嵐のような文化大革命の中で、父親は幼い子供二人を連れて内蒙古の奥地から麗門まで三〇〇キロに及ぶ逃避に挑んだ。紅衛兵から逃げつつ船を借り受け、四日、漂流のような航海で香港エリアに辿りついた。彼が紅衛兵から批判された彼の肩書は香港では有用だった。大学での職もあったが二人の子供を育てるためもあって街薬局を開く。

ティェションは何も答えず没頭している父親の背中をしばらく見て、店をでようとした。風邪の薬が棚から落ちていた。そっとポケットにしまう。眠る時に飲むと、なんとなく、いろんな病気が直ってる気がして、安心して眠れた。

いつか父親が云っていた。ティェションという名前は、母親の祖国、日本の言葉では「テツオ」というのだ、と。何度か発音してみたけど、ちょっと「テツオー」という響きは難しくて、母親が教えてくれるのを想像してしまった。終

「ティェション、いるんだ。」

「お待たせ！」とティェションは叫んだが、夜方くさい店の中は静まりかえっている。天井で廻っている旋風機が薬臭さを余計にする。父親は奥の調剤室でしきりに薬研で調合している。「夕食、持ってきたよ、パーパ」と云っても父親は「あゝ」とつぶやいたままこっちすら見ない。

だけどティェションは、そんな父親に怒りもしなかった。この百年に、何人かの香港人は、妙薬を発明し莫大な財産と最高の栄誉を手にしてきた。この街で「妙薬」と評価されれば、全世界に点在する華僑の貿易ルートにのって「香港製妙薬」は売買されるのだ。父親は、喘の炎症を抑える特薬をここ数年、ずっと開発していたのだ。

阿Qソノシート（サマーハンマーズ）は自主盤育名取り扱い店で発売していますが、置いていない場合は直接、阿Q通信公司に注文してください。送料は二四〇円かかり（♡）

（訂正とお詫び）前回の「阿Q物語」で、アメリカ大陸極北部、アラスカ一帯に住む狩猟民族を総称して「エスキモー」と記しましたが、私の不勉強で、「エスキモー」（◇）

（◇）はなんでも、「生肉を食う連中」みたいなニュアンスの蔑視表現であると御指摘をいただきました。北方民族の皆様に慎んでお詫び申し上げます。

（☆）御予算に応じて、松下経営塾も真っ青の合理化価格で応じます。

（△）リハーサルの時間を削ってまでグッズづくりをするという「なんのために上京したのか」と周囲が疑問をいだいてしまう一ケ月だった。次は来年四月がペレストロイカか……。

なんの予告もない新企画で、それも一〇〇〇円という出費を強制するなど言語道断だが、これまで一年半、苦労してきた阿Qの青年達だ、許していただきたい。相変わらず（△）

阿Qはこの夏から秋、場所を選ばず、とにかく演奏します。大学祭でも市民音楽祭でも、とにかく「阿Qの演奏をやりたい」と考えたらすぐに電話してください。（☆）